

§ 北浦和サッカースポーツ少年団の 成り立ち §

○目的○

当少年団は、サッカーを通じて明るく強く粘りのある子を育成することをねらいとして次の綱領を定め、指導者・保護者が一体となり、人格形成途上にある少年少女に躍動の場を与えることを目的として活動しています。

- 1、私達は健康な体と心を養い立派な人間になります。
- 1、私達は強い精神力をつけるために、どんな苦しいこともやり通します。
- 1、私達はルールを守り他人に迷惑をかけず、立派なマナーを身につけます。
- 1、私達はサッカーを通じて自分の限りない力に挑戦するために努力します。
- 1、私達はサッカーを通じて友情と協力と和、喜びを学びとります。

○活動○

練習の他に試合や遠征を組み入れ、他のチームとの親善試合等で交流を深めると共に、スポーツを通じ団体生活でのチームワーク、技術の向上に励んでおり、ホームステイを組み家庭的な交流も作っています。そして、子供達の創造性を豊かにするため、キャンプ・合宿・見学会・クリスマス会等の行事を行い、また、親子のコミュニケーション作りに、運動会・親子サッカー大会も企画、これらを通じて団体生活を楽しんでもらっています。学校や他団体、地域との連携を大切にし、催し物や行事等には積極的に参加しています。

○歴史○

当少年団は、昭和40年に再開が決まった浦和小体連のサッカー大会参加の為 当時の北浦和小学校浅香校長が、田中英次氏（初代監督）に、子供達のサッカーを見てほしいと相談をされた事から始まる。その指導をしたのがきっかけで ここに県下では初めてのサッカー少年団を創設。1年後には、浦和市スポーツ少年団が創設の運びとなり、昭和42年3月4日北浦和小学校校庭にて結団式が行われ、団旗も授与された。

10期目の昭和50年からは2期生の吉野監督（現代表）に交代。昭和53年第2回全国大会でベスト8、グッドマナー賞を受賞。昭和60年、駒場競技場にて20周年記念大会を挙行。その後はサマー大会として行い19回を数え、全国各地から訪れるチームの交流の場となっている。厚木・新潟・沖縄の団員とのホームステイは友達との和を作り、家庭的な交流の場ともなっており、もう20数年にもなる。

昭和61年1月には地域育成の活動と教育面での団活動に対し、浦和市青少年育成会より団体表彰。同年10月に、社会体育優良団体文部大臣賞を文部省より受賞。

7人からスタートしたこの団も現在では64名を超える。卒団生も575名となり、今年で40年目を迎える。

（代 表） 吉野 弘一 北浦和3丁目

日本体育協会公認スポーツ指導者B級

日本体育協会プログラマー